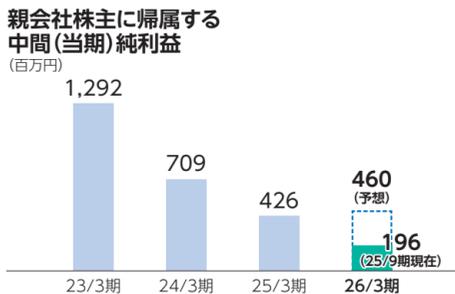
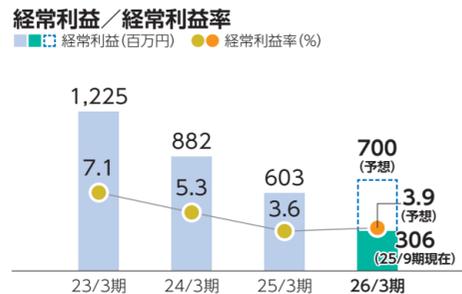
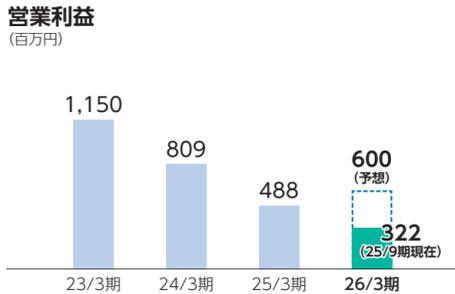
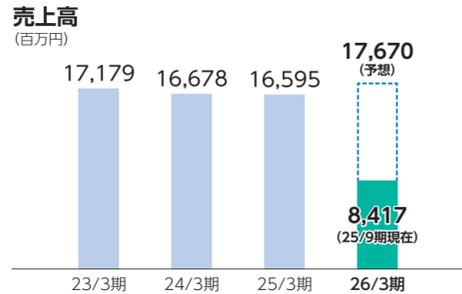


2026年3月期第2四半期 業績ハイライト

決算に関する詳細情報は当社ホームページで
ご確認ください。



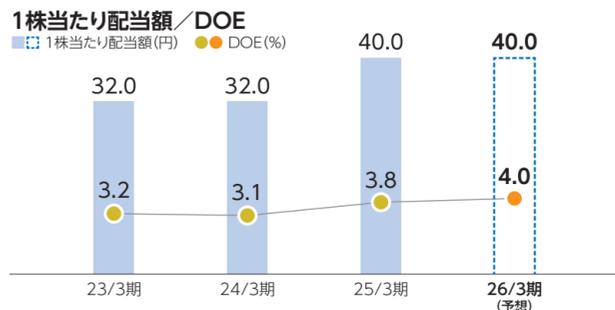
富士ダイス 検索



期末配当(計画) **40円**

配当方針

「中期経営計画2026」の期間における配当方針は「株主資本配当率(DOE)4%」を
目途としております。2026年3月期の配
当は前期の配当と同額の1株当たり40円
を計画しております。



当第2四半期の総括

当中間連結会計期間における売上高は8,417百万円と前
年同期に比べ増加しましたが、鉄鋼関係の需要の減少により
業績予想に対しては未達となりました。

営業利益につきましては、原材料価格の高騰、人財投資
の拡充があったものの、売上高の増加により営業利益は
322百万円と前年同期及び業績予想に対して増加しました。
一方、助成金収入の減少及び為替差損の増加により経常利
益は306百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は196
百万円となり、前年同期に比べ減少しましたが業績予想は上
回りました。

今後の方針

当中間連結会計期間においては、新拠点の東莞を足掛かりに、中国でのローカル企業向け光学機器関連の販売を拡大し、売りに貢献しました。第3四半期以降は、好調な中国での販売拡大に加え、タイ・インドネシア・インドでの知名度向上と新規顧客の開拓の推進を図るため、現地で開催される展示会に出展する予定です。

また、金型工具向け素材や輸送機器向けの需要増を見込み、さらなる自動化により生産性向上と業務効率化を推進するとともに、価格戦略を見直し、収益性の向上を図ってまいります。

会社概要/株式の状況

会社概要 (2025年3月31日現在)

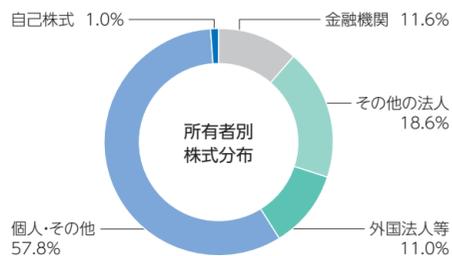
社名 富士ダイス株式会社
創業 1949年6月6日
本社所在地 〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
資本金 164百万円
拠点 営業拠点10 生産拠点7
グループ会社 国内2社 海外5社
従業員 1,090人(連結)

役員一覧 (2025年9月30日現在)

代表取締役社長 春田 善和 社外取締役 澤井 英久
常務取締役 津田 雅宣 社外取締役 内田 伊知郎
海外事業本部長 取締役 技術開発本部長 篠宮 護 社外取締役 上田 典由
取締役 品質保証本部長 馬渡 和幸 取締役(常勤監査等委員) 古谷 高宏
取締役 営業本部長 松岡 恭弘 社外取締役(監査等委員) 江口 泰志
取締役 業務本部長 高安 真生 社外取締役(監査等委員) 中村 美智子
取締役 生産本部長 輪竹 暢久

株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式総数 20,000,000株
株主数 7,754名
(前年同期末比495名増)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日 毎年3月31日
剰余金の配当基準日 毎年3月31日及び9月30日
株式の売買単位 100株
証券コード 6167
上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号

公告方法 電子公告により行います。ただし電子公告
によることができない事故その他やむを得
ない事由が生じたときは、日本経済新聞に
掲載して行います。公告掲載URL <https://www.fujidie.co.jp/>

IRカレンダー



富士ダイス株式会社

〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
TEL: 03-3759-7182
<https://www.fujidie.co.jp/>



トップページ



投資家情報



本株主通信に記載されている事項は、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は、当社の予想と異なることがありますので、ご承知おきください。



第70期 [2026年3月期]

中間期 株主通信

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

証券コード: 6167(東証プライム市場)

CONTENTS ① TOP MESSAGE ② 業績ハイライト ③ グループ企業理念・ビジョン ④ TOPICS ⑤ 会社概要/株式の状況



その感動のウラに、富士ダイス。

富士ダイスは1949年の創業以来、
ものづくりに不可欠な超硬耐摩耗工具を開発・製造し、
暮らしと産業の進化を支え続けてきました。
感動の瞬間を写し出すカメラ、
仲間と飲んだ缶ビール、家族を乗せて走ったマイカー。
忘れられない体験を彩る製品のウラにはいつも富士ダイスがいる。
私たちがつくりたいのは、今日よりもちょっといい明日。
お客様の課題にとことん向き合うことで生まれる発想や、
記憶に残るサービス。
富士ダイスは、人と素材と技術の力で、
世界中に感動体験をお届けする企業へと進化し続けます。



TOP MESSAGE

新たなビジョン

「人と素材と技術の力で『感動体験』を。」
で、100年企業の未来を描いてまいります。

代表取締役社長

春田善和

平素より株主の皆様にはご支援を賜りまして、心より御礼申し上げます。富士ダイスグループの2026年3月期 第2四半期累計期間の連結業績について、ご報告申し上げます。

当社グループは、100年企業を目指して持続的な成長を実現するために、スピード感を持って新たなマーケットを開拓すべく、「変化に対応できる企業体質への転換」を方針にかかげ、2025年3月期からの3年を対象とする中期経営計画を策定しております。

その取り組みの一環として、社員と企業が共に成長しながら新たな価値を生み出し、すべてのステークホルダーの期待に応えるために、グループ企業理念を見直し、新たなビジョンを定めました。また、鋼程度の比重、

超硬合金と同等・鋼の4倍の耐摩耗性を実現し、地政学的リスクが懸念されるレアメタルの使用量を大幅削減した新合金【サステロイ STN30】を開発しました。自動化ロボットの導入や生産工程の見直しによる業務効率化・生産性向上、休眠中のインド現地法人の事業再開プロジェクトの立ち上げ、超硬耐摩耗工具・金型のリサイクル事業のテスト運用、などにも取り組んでおります。当上期業績の詳細は「2026年3月期 第2四半期業績ハイライト」をご参照ください。

今後もグループ一丸となって、新たなビジョン「人と素材と技術の力で『感動体験』を。」の実現を目指してまいります。株主の皆様には、一層のご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。

中期経営計画進捗状況

1 経営基盤の強化

グループ企業理念を見直し、新たなビジョンとその実現に向けた行動指針を策定

2 生産性向上・業務効率化

岡山製造所に自動床洗浄ロボットを導入、業務効率を向上し作業時間を確保
生産工程や焼結条件の見直し、治工具の改良などにより、生産効率を向上

3 海外事業の飛躍

中国で開催された展示会に出展、光学機器関連の販売を拡大
7月に休眠中のインド現地法人の事業再開プロジェクトを立ち上げ

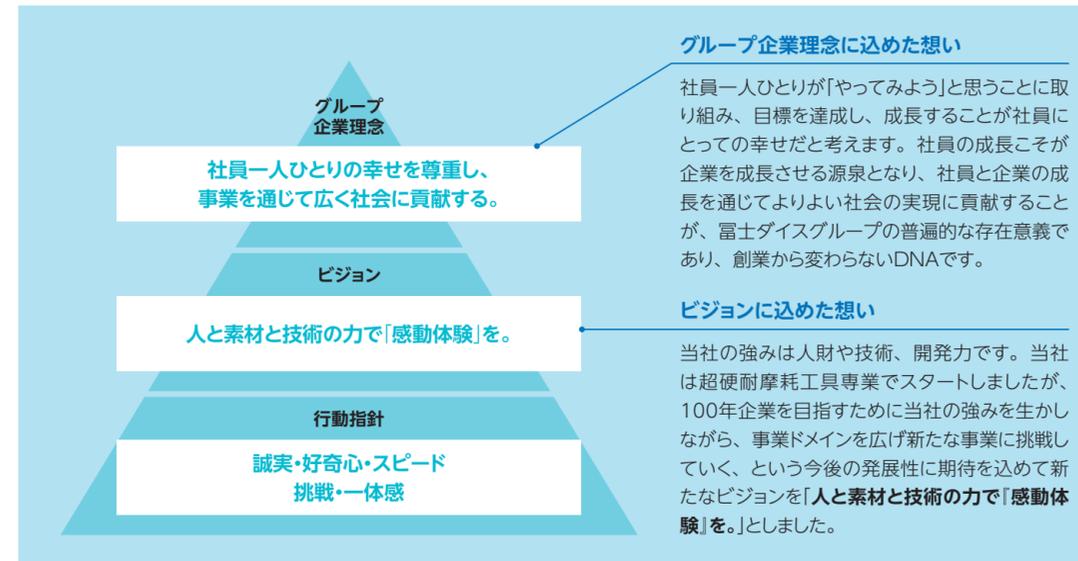
4 脱炭素・循環型社会への貢献

新合金【サステロイ STN30】を開発、
「オートモーティブ ワールド 名古屋」に初出展

5 新規事業の確立

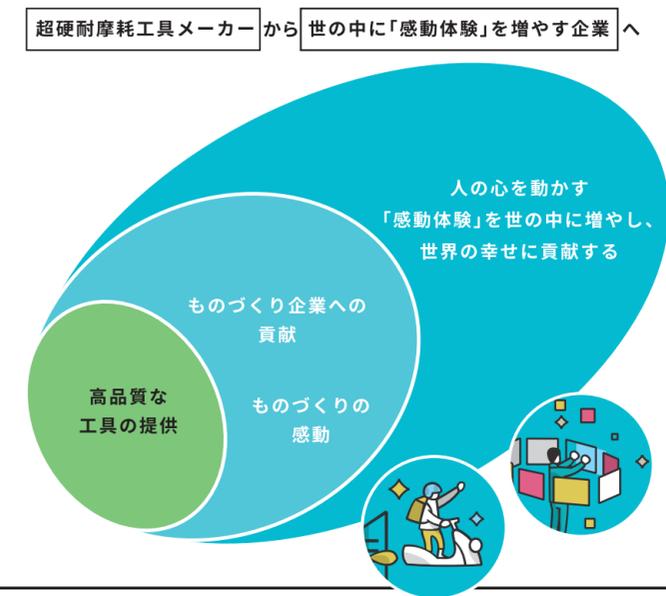
レアメタルを有効活用する超硬耐摩耗工具・金型の
リサイクルのテスト運用をスタート

100年企業を目指して、グループ企業理念を見直し、ビジョンを新たに策定



当社が生産している素材・金型などの提供先はものづくりの企業なので誰もが目にするような製品ではありませんが、世の中のインフラを支え、日々の生活になくてはならない存在です。当社が「感動体験」を提供することで、今日よりもちょっといい明日を作っていきたい。現在もそして将来も、提供するサービスが変わっても、すべてのステークホルダーに期待を超える「感動体験」を届けることのできる企業でありたいと願っています。

当社コーポレートサイトにて、
グループ企業理念・ビジョンの
紹介動画を掲載しています。
ぜひ、ご覧ください。



TOPICS

トピックス

▶ 自己株式の取得を8月12日に公表

株主の皆様への利益還元と資本効率の向上及び将来の機動的な資本政策を可能とすることを目的に、8月12日に自己株式の取得を公表いたしました。取得期間は8月18日から12月23日までです。詳細につきましては、当社コーポレートサイトに掲載しております「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」及び「自己株式の取得状況に関するお知らせ」をご覧ください。

今後も、業績・資本の状況や成長投資の機会、株価を含む市場・業界環境の変化を踏まえ、柔軟かつ機動的に自己株式の取得を実施してまいります。

▶ 新合金【サステロイ STN30】を開発、 「オートモーティブ ワールド 名古屋」に初出展

鋼程度の比重、超硬合金と同等・鋼の4倍の耐摩耗性を実現し、地政学的リスクが懸念されるレアメタルの使用量を大幅削減した新合金【サステロイ STN30】を開発、「第8回 [名古屋] オートモーティブ ワールド ークルマの先端技術展(10月29日～10月31日)」にて初出展いたしました。

2023年3月に地政学的リスクが懸念されるタングステンとコバルトを極力減らした合金を作るというコンセプトで、【サステロイ ST60】を開発、販売しましたが、今回開発した【サステロイ STN30】は材料設計を見直しニオブカーバイドを主成分としたことで、より耐摩耗性を向上させました。



▶ 「第26回中国国際オプトエレクトロニクス博覧会」に出展

昨年に引き続き、今年も深圳市で開催された「第26回中国国際オプトエレクトロニクス博覧会(CIOE 2025) (9月10日～9月12日)」に出展、ガラス成形用金型などを展示しました。

昨年3月に深圳市に隣接する東莞市に営業拠点を新規開設した現地子会社「富士模具貿易(上海)有限公司」では、展示会への出展などを通じて知名度向上に取り組み、自動運転向けセンサー用カメラレンズなどで需要が急拡大している光学機器分野において、新規顧客の獲得に成功し、販売を拡大しています。今後も新規顧客の開拓と販売拡大に注力してまいります。



ESGの取り組み

Social 社会 郡山製造所にて開発途上国の経営幹部に向けた研修会を開催



社会貢献の一環として、郡山製造所にて開発途上国の経営幹部に向けた研修会を9月12日に開催、インド・パキスタン・モンゴルなどアジア地域のみならず、ケニア・トルコなど幅広い地域から計17カ国、総勢25名の経営幹部が参加しました。

工場見学の後、代表取締役社長の春田善和と参加者とのQ&Aセッションが行われました。参加者からは当社のグループ企業理念「社員一人ひとりの幸せを尊重し、事業を通じて広く社会に貢献する。」に基づいた人財育成や、海外での事業展開、成長戦略などについて、時間を超過するほどの多数の質問をいただきました。